



オクスラド通信

第5号
2017.7・8

学校法人 プール学院 法人本部 オクスラド基金 募金室

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-19-31 TEL (06) 6741-7005 FAX (06) 6731-2431
E-MAIL: bokin@poole.ed.jp

オクスラド通信 第5号をお届けします。

皆様の温かいお祈りとともに、オクスラド基金へのご協力をいただきありがとうございます。2015年夏に創刊をいたしましたオクスラド通信ですが、今回の第5号は、お支えの中実施をいたしました活動報告、昨年からの「ご寄付の思い」等を掲載させていただきました。ぜひお読みいただきご感想とご意見をいただければ幸いです。



●委員長

坂本 スミ子 (石井寿美子) 高64回生

●副委員長

- 杉山 修一 (学校法人プール学院理事長)
- 鈴木 光子 (一般社団法人 POOLE 理事長 (プール学院同窓会))
- 益岡 淳一 (プール学院大学・短期大学部後援会長)
- 奥井 浩子 (プール学院中学校・高等学校後援会長)
- 青木 多喜子 (プール学院中学校・高等学校PTA会長)
- 蔵田 實 (プール学院大学・短期大学部学長)
- 内海 伸晃 (プール学院中学校・高等学校長)
- 桜井 和之 (学校法人プール学院法人事務局長)
- 成岡 宏晃 (プール学院中学校・高等学校チャプレン)

●実行委員

- 古川 和子 (一般社団法人 POOLE (プール学院同窓会))
- 大塚 陽子 (一般社団法人 POOLE (プール学院同窓会))
- 五十嵐 よし子 (プール学院大学同窓会ミツバ会)
- 八野 章 (プール学院大学・短期大学部後援会)
- 上原 ゆり (プール学院大学・短期大学部後援会)
- 宮澤 喜代美 (プール学院中学校・高等学校後援会)
- 辻 早苗 (プール学院中学校・高等学校PTA副会長)
- 植野 雄司 (プール学院大学・短期大学部副学長)
- 赤土 壽典 (プール学院大学・短期大学部事務局長)
- 藤本 雪絵 (プール学院中学校・高等学校教頭)
- 杉原 享子 (プール学院中学校・高等学校事務部長)
- 楠原 博次 (学校法人プール学院総務部長)

勝山キャンパス

トイレ洋式化ご協力のごお願い (指定募金)

オクスラド基金 副委員長
プール学院中学校・高等学校
後援会 会長

奥井 浩子

駅や観光地にある女性トイレに出来た順番待ちの長い行列。しかしその先に、なぜか誰も入らないトイレが…。この様な光景を目にされたり、実際に経験をされた方も多いのではないのでしょうか。では、なぜ、このトイレには誰も入らないのでしょうか？それは、「和式トイレ」だからです。そして、これが、まさに勝山キャンパスが抱える最大の課題なのです。

2016年度から文部科学省は、運動能力の低下が見られる現代の子ども達のために学校の健康診断に関節や筋肉、骨などに異常がないかを調べる新たな検査を導入しました。イス生活に慣れた子ども達の下半身の筋力低下は著しく「しゃがむことができない、しゃがんだ姿勢から立ち上がれない。だから学校の和式トイレが使えない。生理現象がまんする。」という問題が起こっています。

さて、勝山キャンパスのトイレは、約90%がまだ「和式トイレ」であり、家庭で「洋式トイレ」を使う生徒達は、同じ問題を抱えて学校生活を送っています。

私は保護者として、そして現在は中・高の学校薬剤師として生徒達に長年関わり見守ってきました。

一日の大半を過ごす学校のトイレが、生徒達にとって使いづらい「和式トイレ」で良いはずがありません。

また国際プログラムを充実させている中・高のトイレも国際化(洋式化)していく必要があると思っています。

しかし、この「和式トイレ」を「洋式トイレ」に替えるには多くの費用が掛かります。

皆様に温かいお祈りと共にご協力頂いております「オクスラド基金」は今回、

勝山キャンパス トイレ洋式化募金 (指定募金) をお願いすることになりました。

学校としても施設設備の充実に向け取り組んでおりますが、より一層早期の実現のためオクスラド基金(指定募金)を活用して、用途をトイレ洋式化のために特定したご寄付を募ります。

在籍する生徒達が、快適で充実した学校生活を送るために、そして今後プール学院を学びの場として選んでくれる未来の生徒達のためにも、「トイレ洋式化」(指定募金)に多くのご支援をよろしくお願い申し上げます。



イメージ写真

オクスラド基金について

はじめに

英国聖公会の宣教師で「東洋女子教育協会」から派遣された、ミス・オクスラドが1879年（明治12年）6月2日に大阪川口居留地4番の自宅で女学校を設けたのが、プール学院のはじまりです。2019年に140周年を迎えるにあたり、本学院の歴史の歩みを確認しつつ、使命の実現に向けて、創立者名を冠とする基金を発足させ、創立150周年に向けてのさらなる発展充実の礎といたします。

目的と使途

創立150周年に向け、新たな発展を目指すための礎として、以下の目的と使途を考えています。

- * 教育研究の支援：勝山キャンパス（中学校・高等学校）の保守と設備の充実、泉ヶ丘キャンパス（大学院・大学・短期大学部）の施設整備と改修をし、快適な教育環境をめざします。
 - * 特別活動の支援：学生・生徒のボランティア活動やクラブ活動のより一層の積極的な活動をめざします。
 - * 奨学生への支援：学生・生徒への奨学資金の充実をおこない、学びの支援をおこないます。
- 使途につきましては、オクスラド基金規程に基づき、オクスラド基金委員会で決定します。

目標

10億円

期間

2013年6月2日（134周年創立記念日）～2029年度末（150周年）
《第1期：2013年6月2日～2019年6月1日》
《第2期：2019年6月2日～2029年度末》

募金の方法について

● 個人の皆さまへ

【ご入金方法】

以下の方法によりご入金をお願いいたします。

① 銀行振込

銀行名：三菱東京UFJ銀行 今里支店
口座番号：普通預金 No. 1136329
口座名義：学校法人 プール学院

② 郵便振替

口座番号：00980-6-95144
加入者名：学校法人 プール学院

③ インターネットのご利用

中学校・高等学校および、大学・短期大学部のホームページからクレジットカードでご寄付がいただけます。

④ その他

直接にご持参いただくこと、またご自宅等へお伺いすることも可能です。

【寄付金の免税措置について】

寄付金の額が2,000円を超える場合には、その超える金額の40%相当額（所得税額の25%を限度）を個人の所得税額から控除ができます。詳しくは募金室までお問い合わせください。

● 法人の皆さまへ

- * 専用の振込用紙がございますので、誠にお手数ですが、募金室までご連絡をお願いいたします。
- * 寄付金全額を損金に算入できます。

◆ 遺贈によるご寄付について

オクスラド基金へのご寄付は、不動産・株式等の現物でも譲渡所得が非課税となります。
遺贈として本基金にご寄付をお考えの方は、募金室までお問い合わせをお願いいたします。
信託銀行等のご紹介も可能です。

◆ 私立の学校にとり、「募金」は教育活動の源泉です

「大学教育60周年記念募金」「勝山校舎建築募金」につきまして、多くの方々のお祈りとご寄付をいただき終了をいたしました。心から感謝申し上げます。
プール学院の「募金」は、入学時にお願いをいたしております「教育振興募金」と年間を通じての募金として、「オクスラド基金」の二つとなります。何卒趣旨をご理解いただき、積極的なご寄付をお願い申し上げます。

何かお気づきの点などがございましたら、誠に恐縮でお手数をおかけしますが、下記までご連絡を頂ければ幸いです。
なお、ご寄付により本学が取得しました「個人情報」につきましては、本基金に関する業務（お礼状・領収書の送付、ご寄付芳名録作成等）にのみ利用させていただきます。

オクスラド基金のご報告

ご確認のお願いを申し上げます

ご報告にあたり、以下をご留意くださいますようお願いいたします。

*下記「オクスラド基金受入状況報告」は、発足から、本年5月31日までにご寄付（ご入金）をいただいた状況を掲載させていただいております。

*申込書に「掲載は辞退」とのご指示をいただいております以外は、副委員長会議等にて協議し決定した分類に基づき、前回と同様に掲載させていただきました。

*敬称は省略させていただきました。

*ご芳名につきましては、右面の通りでございます。なお、ご報告の形式等につきまして、皆様からの前向きなご提案とご意見をお願いいたします。

*万が一、ご芳名等の間違い等がございましたら、お詫び申し上げるとともに、誠にお手数ですがご連絡賜りますようお願いいたします。次回（第6号）にて、ご訂正等をさせていただきます。

オクスラド基金受入状況報告

2017.5.31.現在（単位：件、円）

期 間	2016年3月31日までの受入		2016年度受入		2017年4月1日～ 5月31日までの受入		合 計	
項 目	入金件数・金額		入金件数・金額		入金件数・金額		入金件数・金額	
1. 保 護 者	136	6,399,040	35	834,520	1	3,060	172	7,236,620
中学・高校保護者	122	6,252,040	28	758,520	1	3,060	151	7,013,620
大学・短大保護者	14	147,000	7	76,000	0	0	21	223,000
2. 教 職 員	193	13,274,302	28	3,329,000	1	100,000	222	16,703,302
教職員（現職）	99	4,559,332	11	2,030,000	1	100,000	111	6,689,332
教職員（旧職）	94	8,714,970	17	1,299,000	0	0	111	10,013,970
3. 一般社団法人 POOLE （プール学院同窓会）	312	11,099,504	73	2,729,737	7	132,510	392	13,961,751
本部同窓会	244	9,364,504	58	1,777,394	0	0	302	11,141,898
大学同窓会ミヅパ会	64	1,635,000	14	877,000	7	132,510	85	2,644,510
支部など	4	100,000	1	75,343	0	0	5	175,343
4. 後援会（中学・高校）	32	1,428,866	8	1,748,720	1	20,000	41	3,197,586
5. 教会関係	4	660,000	1	10,000	0	0	5	670,000
6. 役員・評議員	21	2,530,000	6	200,000	2	20,000	29	2,750,000
役員・評議員（現職）	15	1,380,000	4	165,000	2	20,000	21	1,565,000
役員・評議員（旧職）	6	1,150,000	2	35,000	0	0	8	1,185,000
7. 企 業 ・ 団 体	10	1,012,000	1	500,000	0	0	11	1,512,000
8. そ の 他	25	492,933	9	223,682	0	0	34	716,615
合 計	733	36,896,645	161	9,575,659	12	275,570	906	46,747,874

オクスラド基金 寄付者ご芳名

～感謝をもって領取させていただきました～

(期間：2016年6月1日～2017年5月31日)

■100万以上

高安明子

■50万以上

堀田司津子

匿名 1名

■10万以上

大塚陽子

大坪清高

桜井和之

佐野仁美

杉山修一

鈴木光子

中野文宏

長谷川希公代

山下浩幸

匿名 2名

■5万以上

青木多喜子

奥井浩子

菅野展史

境智永子

崎間由紀子

古川和子

堀田美代子

松下洋之

加藤明宏

久保義道

匿名 3名

■5万未満

青木英鶴子

赤津佳珠子

秋好静

安藤英子

池田美代子

井笹尚樹

磯啓子

伊東美賀

井上美津

上田万里子

上田真莉子

上西暁代

植原宏子

江川永子

大澤光子

大塩チアキ

太田順子

太田幸彦

大西仁幸

大森昌子

大山秩子

小笠原陽子

岡田修昌

岡村さち子

小倉敬子

小原登志子

小和田禎子

川口カナエ

木下恵美

木村俊一

楠原博次

熊谷真弓子

小池一郎

小林千枝子

斉藤之子

阪田隆広

崎谷祐子

佐々木淳

佐野信三

佐野令奈

惣津節子

高田修志

高田昌代

竹内信義

田代美津代

多田和佳子

田原扶美

丹原美栄子

綱島喜久栄

中尾仁子

中川由香莉

中島代喜子

中原譲

西村逸郎

西山実紅

橋爪栄満子

長谷川里花

長谷川里紗

原徹

平田徹

平野陽子

福田紀子

藤田法子

本間加代子

松中敦子

松元公子

南出和余

三宅照子

森脇洋一

矢口高義

安井紀久子

山下なほみ

山下幸利

吉田照子

匿名 10名

■お名前のみ

五十嵐泰子

井上修一

児玉哲也

高屋明子

田中榮子

中山浩子

■50万以上

匿名 1企業

プール学院中学校・高等学校後援会

■10万以上

プール学院大学同窓会ミヅパ会

プール学院中学校高等学校PTA

■5万以上

プール学院同窓会関東支部

成人祝福礼拝時献金(同窓会)

成人祝福礼拝時献金(中高後援会)

■5万未満

プール学院73回生D組有志

プール学院高等学校 第98回生有志

プール学院中学校70回生A組

プール学院同窓会 2017同窓生の集い

PTA 実行委員一同

2015年度ばいぶるカフェ参加者

プール学院92回生有志

プール学院同窓会 米国東部支部一同

尼崎ステパノ教会

晴美台校区自治連合会

槇塚台校区自治連合会

同窓会館設置募金箱

プール学院中学校・高等学校後援会

2016年文化祭バザー募金箱

*なお、お名前・団体法人等の表記は、受領書記載の通りにさせていただきますので、ご了承ください。

お願いいたします

第86号プール学院報(来年3月頃発行予定)とともに、オクスラド通信第6号の発刊を予定しています。

第5号および次回(第6号)に向けてのご意見ご感想をお願いいたします。



ご寄付の 思い

昨年、天国に召されました高屋尚子^{たかやたかこ}（第89回生）様のご遺言により、オクスラド基金にご寄付を頂きました。高屋明子様（お母様）をお願いをし、ご寄稿をいただきました文章を心から感謝しつつ、掲載をさせていただきます。本当にありがとうございました。

高屋明子（89回生 高屋尚子母親）

長女マグダラのマリア高屋尚子が2年数ヶ月の闘病の末、多勢の看護師・医療関係の皆様に見送られ神戸元町のセントミカエル教会に向かいましたのは、2016年9月3日でした。

思いおこせば、私共とプール学院との関係は、1976年に姪が貴学院中学に入学し、キリスト教宣教師により設立された学校で、環境、諸先生のご指導、通学の便等安心して子どもの教育をお任せできると考え、翌年長女は高等学校へ、次女は中学校への入学を許され通学する事となりました。

高等学校3年間は良き先生、良き友に恵まれ充実した学校生活を過ごしました。卒業後、看護師を目指し聖路加看護大学へ進学しました。卒業後、聖路加国際病院に就職し研鑽をつむ事になりました。在職中には大学院修士課程でも学び、阪神淡路大震災ボランティア活動にも参加。長女の生活の中には、本人も気が付かないうちに、貴学院以来のキリスト教の精神が根づいていたのでしょう。30数年に及ぶ東京生活後、神戸市立医療センター中央市民病院への転職3年目のこれからという時に病魔にみまわれ、その病床で僅少ですが、貴学院への遺贈を頼まれました。本人も悔しい残念な気持ちでいっぱいだった事と思いますが、亡くなる1か月前に洗礼を受け静かに穏やかに旅立ちました。貴学院の諸先生にお手伝いを戴き、私も長女との約束を果たす事ができ感謝しますと共に、プール学院の益々のご繁栄をお祈りいたします。

（追記）

召された時（55歳）は、神戸市立医療センター中央市民病院院長補佐兼看護部長として勤務しておりました。また、次女はプール学院の短期大学を卒業後、10数年会社勤務後、現在3児の母として奮闘中。私は、目下聖書の読破に挑戦中。



(5)

卒業生特別手記

「地下鉄サリン事件」に遭遇して
事件当日「聖路加国際病院」で勤務中

第89回生 高屋尚子

平成7年3月20日。私は先週2日の目を覚めないだろう。宿病もご存じの東京の宮田地下鉄で延命神経ガスによる無差別殺人事件が起こった日である。

その日、私は午後3時から翌朝8時までの看護管理部の夜勤部長だった。私は緊急を法外通常より1時間早く病院に出勤したが、病院内は人の山でパニック状態であった。院長より「本日の外傷診療及び手術は中止。全職員がこの緊急事態に対応しよう」と通告され、医師、看護師、保健師、検査技師、事務職員等全ての職種が総力を挙げて進んでいく患者の片当てに回った。また、松本サリン事件に詳しい松本医科大学医学部より参考となる資料がP.A.Xで送られ、備もなく緊急ガスは「サリン」と判明し、さらに適切な治療が提供できなくなるに至った。患者の運命は、目がチカチカする。頭が痛い。ボーッとする。吐き気及び嘔吐。息苦しい。視野が狭くなる(暗闇による)等であり、外傷はほとんど雷打であった。一次に約60人の患者が運ばれる中、病内のスタッフは各々の職種としての役割を自覚し協力体制が自然と整っていた。

まず、患者に安心感を与える

朝の通勤ラッシュ時であったため、患者は静か感のりばかりであった。寝が不調の出来事でもしも死の恐怖に立たされ危機感を覚え不安や恐怖感に支配されていた。その状況下で看護婦として出来ることは「患者に安心感を持たせること」と再認識した。解毒剤の投与により身体状況を確認することも一つである。(心身一元論の考え)患者に優しく触れる、声をかけること。「あなたのことを気にかけています」という言葉や態度も安らぎに繋がる。長柄子でなく少しでも身体が休まるベッドを提供することも一つである。そして出来る限り早く家族と連絡をとり安否の確認をとることも大切である。運風の



プール学院会館玄関前で、片山院長（左）と高屋さん

中で押退け患者の介抱手を頼み適切なケアを提供することは、日頃何気なく行っている仕事から習得された専門的、臨陣能力である。

サリン事件は人の命の尊さを無下にする行為

事件当日、私は、「やっつと得られた平穏さ、患者の安らぎを守りたい」という思いで院内を巡回した。私は現場で働くスタッフに「耐えていることを言わないか」と声をかけ、看護士何の問題は生じていないか、患者の容態の悪化や緊急事態の発生予兆や悪化兆しを考慮する立場であったが、重大事件も起こらず、無事は朝を迎えられた。これも院内職員の協力があってこそと思う。

二度とこのような事件は起きるべきではない。それは理国イレイレに行く1人の女性患者が突然病下で「思い出しただけでも怖い」と泣きだす姿や、事件発生は2時間前後にやっつと始まった瞬間に「どうして病院はもっと早くに連絡をしてくれなかったんだ」と怒鳴る姿。これらは彼女自身の気持ちを全て物語っている。人生の原則に無視の可能性を持っていく人々の無情な災難を見るのは辛い。まして人の命の尊さを無下にする行為にはもっと嫌いを覚える。

知事 高屋 尚子 (89回生)
聖路加看護大学 看護学部入学
卒業後、引き続き聖路加国際病院に勤務。
今春からもっと広い視野からの看護を習得するために聖路加看護大学大学院に入学。
[片山先生(前掲)は英語の教科担当、高屋さんは英語担当先生。]

プール学院報 第41号に掲載されました高屋尚子様の手記
(1995年6月2日発行)

ご支援に心から感謝申し上げます!!

オクスラド基金から、各々の部門への活動に対してのご支援をいただき、ありがとうございました。
ご支援をいただき実施いたしました各々の事業につきましての一部をご紹介します。報告と感謝とさせていただきます。

中学校卒業論文集 『知の輝き』の歩み

総合学習担当 勝見昌浩



昨年12月にオクスラド基金の助成をいただいて、2015年度中3生徒の卒業論文集『知の輝き』第5集が完成しましたこと、心より感謝申し上げます。第5号では、この年度の優秀作品17編の全文とともに、巻頭に、生徒が論文をプレゼンテーションするために作成したポスターを写真版で掲載した点が、新しいコンテンツとなっています。

卒論集は、研究誌『普溜』第11号（2011.2）の中学校卒業論文特集号に始まります。現在準備中の『知の輝き』第6集（2016年度中3）を加えると、7期にわたって成果物を上梓する場を得てきたこととなります。生徒にとって、自分が書いた論文が活字になり、製本され、読者に手渡される喜びはひとしおです。また、例年約500部印刷されるこの論文集は、後輩生徒の授業で教材としても配布されます。その場面では、章立てやタイトル設定の方法、引用や出典明記の原則など、論文作成のリテラシーを受け継ぐ見本として大きな役割を果たしています。さらに、入試説明会等の広報の場でも展示され、中学校の特色ある教育として注目していただいています。

『知の輝き』に掲載されている生徒作品の多くは、「図書館を使った調べる学習コンクール」（公益財団法人図書館振興財団主催）に出品したもので、コンクールでは連続して入選の栄誉を手にかけています。入選者は、例年2月頃、清心館での礼拝の場をおかりして、研究成果をプレゼンテーションする機会もいただいています。

2020年から小中高で順次実施予定の新学習指導要領では、これまでアクティブ・ラーニングとして提唱されてきた「主体的・対話的で深い学び」がより強く推進されます。この卒業論文の取り組みは、研究課題を発見し、探究によって解決に導き、自分の表現によって発信するプロセスを学ぶという点で、その先進的な試みであるといえるでしょう。

学校法人 プール学院

プール学院中学校・高等学校・法人本部

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-19-31
電話 (06) 6741-7005(代) F A X (06) 6731-2431
ホームページ <http://www.poole.ed.jp>



プール学院大学・プール学院大学短期大学部

〒590-0114 堺市南区横塚台4-5-1
電話 (072) 292-7201(代) F A X (072) 293-5525
ホームページ <http://www.poole.ac.jp>



一般社団法人 POOLE（プール学院同窓会）

〒544-0033
大阪市生野区勝山北1-11-43
（プール学院会館内）
電話 (06) 6715-0820
F A X (06) 6710-4410
ホームページ <http://www.poole-obog.com/>



大阪府内の聖公会関連学校

学校法人 トリストラム学園 プール幼稚園

〒546-0023
大阪市東住吉区矢田3-2-18
電話 (06) 6698-7700
F A X (06) 6698-7290



桃山学院大学

〒594-1198
和泉市まなび野1-1
電話 (0725) 54-3131

桃山学院中学校・高等学校

〒545-0011
大阪市阿倍野区昭和町3-1-64
電話 (06) 6621-1181

聖バルナバ助産師学院

〒543-0032
大阪市天王寺区細工谷1-3-18
電話 (06) 6779-1675

博愛社学園幼稚園

〒532-0028
大阪市淀川区十三元今里3-1-72
電話 (06) 6302-2095